

「農地を活かし、地域を育てゆく」を合言葉に、地域の農業振興に取り組みます。

第 58 号
2023 年 8 月

くにたち 農業委員会だより

発行：国立市農業委員会



農業委員会は、新しいメンバーになりました。

都市農業を取り巻く環境は依然厳しく、国立市においても、担い手の不足や生産資材等の高騰、近年の異常気象等、対応すべき課題は多く存在しているのが実状です。一方で、農業や農地の価値が地域内で高まり続けていることもまた事実です。災害時における食料や避難場所の確保、まちなかの緑環境の整備といった点にも加え、近年の不安定な国際情勢等も鑑みると、安心安全な「食」を常に供給するためにも、地元に根付く農業が果たす役割は今後益々大きくなっていくでしょう。

国立市農業委員会では、今後も市民の皆様と地元農業者との懸け橋となりながら、市内の農業を守り、育てていくための活動を行ってまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会長 北島 直芳

農業委員会の主な活動

■国立市農業委員会総会の開催

ー法定事務の処理、農地保全・適正管理について検討ー

■会議・研修会等への参加ー農業経営に係る知識の習得ー

■くにたち農業委員会だよりの発行ー情報発信ー

■農地の保全と効率的な利用促進ー農地利用状況調査ー

■農業の振興ー農業者への情報提供や意見・要望の集約ー

令和5年度国立市農業委員会活動指針は
国立市のホームページをご覧ください。

■市民への農業啓発活動

ー稲作体験学習会事業の実施ー

ー国立市農業まつりへの協力ー

■農業委員日常見回り活動

ー活動の記録と総会での情報共有ー

新農業委員 10名が決まりました。

任期は令和5年7月20日～令和8年7月19日の3年間です

※議席番号順
※敬称略



内山 砂里 (1期目)

農政班 国立市商工会推薦

この度、関藤子さんに代わり農業委員を仰せつかりました。ベテランの農業委員の方々にノウハウを教えていただきながら、美味しい地元農産物を多くの市民の方にお伝えできればと思います。



佐伯 正弘 (1期目)

農政班長 久保地区

田中賢治さんに代わり、久保地区担当になりました。宜しくお願い致します。



遠藤 良信 (2期目)

農地利用班 千丑・石神地区

農業委員二期目になりますが、これからの農業の発展と若手農業者の支援に努めてまいります。



佐伯 義夫 (1期目)

農地利用班 青柳地区

国立市の農地を守り、若手の農業推進を計る勉強会、意見交換会に参加し、農業経営者の活動に貢献したいと思います。私自身、流通業・農業者としての経験を生かし、生産者の高齢化対策に取り組み農業委員として活動を行っていきます。



北島 直芳 (2期目)

会長 坂下地区

二期目の農業委員となり、この度、会長職を務めることとなりました。前期の経験を生かし、農業委員と一丸となり、尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



鈴木 政久 (2期目)

農政班 農協推薦

国立市の農業の発展のため、担い手や後継者の育成の支援や、農地利用について考えていきたいと思っています。二期目となりますので引き続きよろしくお願いいたします。



小鹿倉 薫 (3期目)

農政班 税理士

三期目となりますが、引き続きよろしくお願いいたします。近年農地を取り巻く環境は益々厳しくなっております。国立市の農業と農地を守るために、微力ですが貢献したいと思います。



関 慎一 (1期目)

農地利用班長 下谷保地区

農地の適正な管理と保全ができるよう、各種法制度等と農業者の間をつなぐ農業委員としての役割を努めるとともに、国立市の農業が発展するよう活動していきたいと思っています。



佐伯 昌信 (1期目)

農政班 四軒在家地区

農業者として培ってきた経験を基に、地域農業に少しでも貢献できるよう、努めてまいります。



三田 栄作 (1期目)

会長職務代理 中平地区

これまでの営農経験を生かし、市内農業の発展や適切な農地管理等に尽力して行きたいと思っています。また、世界基準の農業経営をめざす各種GAP認証を受ける農業者の支援もできればと思います。

令和4年度 国立市優秀農業者表彰式の開催

国立市農業委員会では、国立市優秀農業者表彰式として、各受賞者の皆様の表彰式を執り行いました。

- ・第62回企業的農業経営顕彰 全国農業会議所会長賞、東京都農業会議会長賞 **杉田幹男さん、沙央里さん**
- ・第49回農業委員会等功労者表彰 農業功労者感謝状 **矢澤弥生さん**
- ・令和4年度北多摩地区農業委員会連合会優秀農業者表彰 **佐藤一広さん**

令和4年度 東京都指導農業士への認定

国立市で4人目の東京都指導農業士が誕生しました。

- ・令和4年度東京都指導農業士認定 **佐伯達哉さん**

農業者大会への参加



▲祝辞を述べる
小池百合子都知事

令和5年2月16日に第65回東京都農業委員会・農業者大会が3年ぶりに執り行われ国への要望、ならびに翌年度の「活動の決議」が決定されました。また、農業者大会では各顕彰事業の表彰式も行われました。

【八王子J:COM ホールにて】

◀前列は受賞者の皆様、指導農業士認定者と農業委員。
(左から遠藤会長、杉田幹男さん、杉田沙央里さん、
矢澤弥生さん、佐藤一広さん、佐伯達哉会長職務代理)
後列は農業委員。【令和5年2月16日実施】



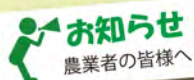
▲ゲストスピーカーの様子

稲作体験学習会事業を実施しました。

稲作についてのゲストスピーカーを市内公立小学校8校の5年生を対象に実施しました。田植えについては台風の影響で田んぼへの水が不足し、児童による田植えが出来ませんでしたので、農業委員により田植機での田植えを行いました。



▲田植えの様子



お知らせ
農業者の皆様へ

増えてます…

**アライグマ
ハクビシン**

市では、アライグマやハクビシンの生息が確認できた場合、市民の方のご協力をいただきながら、箱罠を設置し、捕獲、駆除します。

●被害のご相談は…

国立市役所環境政策課まで。



くにたちの農を担う

認定農業者紹介 vol.5

北島 義昭さん（下谷保地区）

北島さんは、平成26年から農業委員を二期務められ、農業委員会会長としてもご尽力いただきました。就農して40年。600年の歴史を持つ農家の12代目として、JA直売所、青空市、マルシェ会等への参加に加え、農業体験農園にも取り組んでおられます。今回は、北島さんの農園経営を中心に、お話をお伺いしました。

■農業体験農園とは、どのような農園なのでしょう？

農業体験農園では、利用者さんが園主から肥料の使い方や、日常の圃場管理、作物の収穫方法などの指導を受け、野菜栽培を行っています。今は、基本的に毎週土曜日に作業をしていて、この春からは、レタス、トウモロコシ、枝豆、インゲン、キュウリ、トマト、ピーマン、ナス、オクラ、かぶ等に挑戦しているところです。作業は各利用者さんがご自身の区画で行いますが、作付品目が共通なので、皆さんが同じ作業を共有する仕組みになっています。作付計画の作成や、農園の管理にあたっては、全国農業体験農園協会に入会して、都度アドバイスや必要資料の作成等をお手伝いいただき、円滑な運営ができるよう心がけています。

■開設して何年になりますか？

平成28年に開設したので、今年で7年目を迎えます。最初は35名の利用者でスタートし、現在は40名で運営しています。小さいお子さんから年配の方まで、皆さん楽しんでくださっていると思います。

■体験農園にして良かった事はなんですか？

活動を通じて、参加者が農業に対する理解を深めてくださることは勿論ですが、作業を共有することで、少しずつ皆さんのコミュニティーが形成さ



れていくのを見ると、非常にやりがいを感じますね。どなたものびのびと作業をしていて、和気あいあいとした雰囲気ですよ。あるお子さんが収穫したてのキュウリを食べて「美味しい！」って言ってくれたのも、とても嬉しかったですね。

■体験農園に取り組まれて苦労した事はありますか？

通年で多品種の作物を栽培しているので、野菜の病気が発症しないための配慮が必要です。連作障害が起きないように、作付計画は協会とよく話し合っていて決めており、土の消毒や、使用する肥料についても普及センターに相談しています。その他、獣害や盗難の対策として、農園外周につけた囲い等の設備保守にも注意が必要です。運営については、毎土曜日となると、私も他の畑で忙しい時期もあるので、そんな時は、ベテラン利用者の方々がお手伝い下さることもあり、大変ありがたく感じています。市内では、他の認定農業者の方々が独自の農業経営でご活躍されていますが、私なりの取り組みが市民の方々に喜ばれ、応援していただけることを、とても嬉しく思っています。

ありがとうございました。実際に農園へお伺いした際は、北島さん同様、利用者の皆さんの穏やかで笑顔あふれるお人柄が印象的でした。今後の益々のご活躍を心よりお祈りしております。



▲利用者さんに指導



▲利用者さんと一緒に…

次回の認定農業者紹介も、お楽しみに…